

2025 年 6 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社コプロ・ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 清川 甲介
(コード：7059、東証プライム・名証プレミア)
問 合 せ 先 執行役員 経営企画室長 松田 高志
(TEL. 052-589-3065)

第 19 回定時株主総会 質疑応答要旨

2025 年 6 月 20 日開催の第 19 回定時株主総会における質疑応答要旨を開示いたします。なお、質疑応答要旨については、ご理解いただきやすいように表現の変更や加筆・修正を行っています。

Q：建設業界は年配の方が多いイメージがあったが、事業説明の中で、在籍技術者に占める入社 1、2 年目の若手人財の構成比が約 7 割を占めると聞いて驚いた。なぜ若手人財が派遣という働き方を選び、その中でコプロを選択するのか。

A：中途採用の方の前職は事務職や店舗販売などさまざまである。多くの方が派遣エンジニアという働き方は、数ある選択肢やエントリー企業の中の一社であり、最初から建設業界を志している人は少ない。そのため、当社は施工管理職という新しい挑戦を促す選考を重視している。これまで知らなかった職種のため、当然ながら不安を抱える方が多い。選考での説明はもちろん、入社後の研修や配属後のフォローを通して不安を取り除く取組みを推進している。

Q：ブルーイノベーション株式会社との業務提携の進捗は。

A：ドローンを活用した設備点検を行うエンジニアを育てて派遣する想定で提携を開始したが、まだ大きな成果はない。

Q：有価証券報告書 P. 22 のサービス別販売実績に記載されている「請負」や「準委任」はどのような事業か。

A：請負は、事業子会社のコプロテクノロジーが営んでいる機械設計サービスにおける工業用機械等の開発・設計に関する業務請負である。準委任は、同じくコプロテクノロジーにおいて、自社雇用していないフリーランスの IT エンジニアを対象とした、準委任契約に基づくシステムエンジニアリングサービスである。

Q：中期経営計画最終年度（27/3 期）の財務業績目標を大幅に上方修正されたが、特に Non-GAAP 営業利益の当初目標に対する上方修正率が高いのはなぜか。

A：社内体制における生産性改善の寄与が大きい。採用部門、営業部門、また間接部門において、管理社員一人当たりの売上高を指標に掲げ、人員管理のほか、業務の生産性向上の取組みを推進している。

以上